

USB ドングルサーバ dongleserver Pro

クイック・インストール案内



概要

この「クイック・インストール案内」では、dongleserver Pro の設置方法と初期セットアップについて説明します。

目次 ⇨ Ⅰ。

本製品の設定でお困りのときは、弊社のカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。



9：00 ～ 18：00 月～金曜日（祝日を除く）



0570-02-3666



support@seh-technology.jp



<https://www.seh-technology.jp>



目次

一般情報	2
目的	2
パッケージ内容	2
別売品	3
技術資料	4
LED 表示	6
機種ラベル	6
安全規定	7
ハードウェア設定	8
ソフトウェア設定	9
SEH Product Manager	9
SEH UTN Manager	10
起動：SEH UTN Manager	11
SEH UTN Manager を起動する	12
UTN サーバを検出して IP アドレスを割り当てる	13
UTN サーバを選択リストに追加する	14
USB ドングルをクライアントに接続する	15
UTN サーバの設定	16
UTN サーバを施錠する	17
法規制の遵守情報	18
Open Source Software License Disclaimer and License Texts	19

目的

USB ドングルサーバの「dongleserver Pro」は、ネットワーク非対応の USB ドングルを TCP/IP ネットワークを介して利用できるようにします。

この目的で、USB ドングルを dongleserver Pro の USB ポートに接続します。UTN (USB to Network) 機能と対応するソフトウェアツールの「SEH UTN Manager」により、USB ドングルとクライアント間に仮想の USB 接続が確立されます。接続された USB ドングルは、ローカル接続と完全に同じ状態で使用できます。

dongleserver Pro は、「dongleserver Control Center」から設定、監視および保守することができます。

USB ドングルを安全に管理するため、dongleserver Pro カバーを施錠することができます。

パッケージ内容

作業を開始する前にパッケージの内容を確認してください。



UTN サーバ 「dongleserver Pro」



キー カバーの施錠用



クイック・インストール案内 dongleserver Pro の設定手順を簡単に説明しています。(この説明書です。)



AC アダプター 電源コード

別売品

dongleserver Pro に付加価値を与える別売品は、SEH および代理店から入手できます。

dongleserver Pro Service^{plus} パッケージ



「dongleserver Pro Service^{plus} パッケージ」は、dongleserver Pro のメーカー保証を 36 ヶ月から 60 ヶ月に延長します。また、製品に不具合がある場合は、先出しの代替品をすぐに受け取ることができます。

詳細情報：

<https://www.seh-technology.jp/services/service-packages.html>



RMK4 (ラックマウントキットタイプ4)



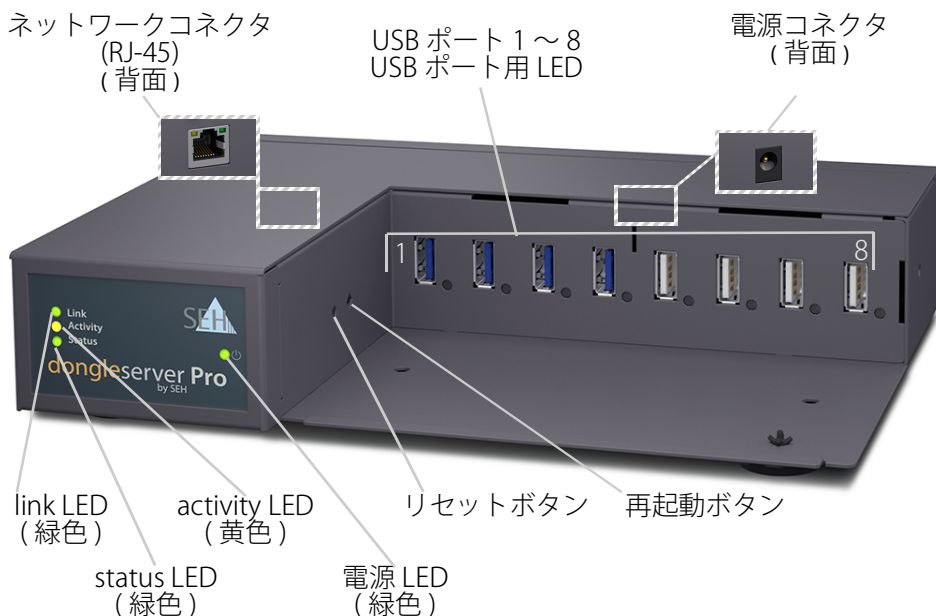
dongleserver Pro を安全に保管するためには、ラックマウントキット「RMK4」を推奨します。ラックマウントキットにより、dongleserver Pro を 19 インチサーバラックに取り付けることができます。これは、デバイスへのアクセスを容易にします。

詳細情報：

<https://www.seh-technology.jp/products/rack-mount-kits.html>



技術資料



特性	値
ネットワークコネクタ	
論理レベル:	IEEE 802.3 (1000BaseT、100BaseTX、および 10BaseT)
物理レベル:	1 x RJ-45 (STP、カテゴリ 5 以上)
デバイス接続	• 4 x USB 3.0 SuperSpeed (USB ポート 1 ~ 4) • 4 x USB 2.0 Hi-Speed (USB ポート 5 ~ 8)
電流入力	• 負荷なしで直流 12 V で約 200mA • 全ての USB ホ ートが使用中の時 • 直流 12V で最大 2500mA
電力消費	• USB ドングル未使用時、約 2.6 W • USB ドングル 8 台使用時、4.5 W • 標準値約 40 kWh/ 年
動作環境	周辺温度: 5 ~ 40 °C 相対湿度: 20 ~ 80%
外形寸法:	幅: 215mm 高さ: 45 mm 奥行き: 155 mm 重量: 1070g (カバーを含む)



警告

すべての USB ポートを最大負荷で動作させないでください。

USB ポートは次のようにグループ化されています。

グループ 1 = 1、2、5、6

グループ 2 = 3、4、7、8

各グループに許容される負荷は 1.2A です。この数値を超えると USB ポートは負荷が十分に低下するまで非アクティブ化されます。

修正方法：

USB ポートが非アクティブ化された場合、UTN サーバへの負荷を低下してください。それにより、すべての USB ポートが再度使用できるようになります。負荷を低下するには、USB デバイスを取り外します。

非アクティブ化された USB ポートは再度アクティブ化する必要があります。この方法の詳細は、dongleserver のユーザーマニュアルを参照してください。マニュアルは 9 ページのリンクから入手できます。



重要：

ネットワーク接続が 13 分以上中断すると、dongleserver Pro はスタンバイモードに切り替わります。

ネットワーク接続が回復すると、dongleserver Pro は再び正常な動作モードに切り替わります。

LED 表示

LED は、UTN サーバの状態を示します。

LED	アクション	色	説明
電源	常に消灯	－	UTN サーバに電源が供給されていません。
	常に点灯	緑色	UTN サーバに電源が供給されています。 (正常動作またはスタンバイモード)
Link	常に消灯	－	ネットワークに接続していません。
	常に点灯	緑色	ネットワークに接続しています。
Activity	不定間隔で点滅	黄色	UTN パケットの通信を示します。
Status	常に消灯	－	Activity LED が同時に一定間隔で点滅している場合は、BIOS モードに入ること を示します。
	3 回点滅	緑色	Zeroconf IP アドレスを示します。
	2 回点滅	緑色	0.0.0.0 に対応していない IP アドレス、 または Zeroconf 範囲外の IP アドレス を示します。
USB ポー ト 1～8	常に消灯	－	各ポートに USB ドングルが接続されて いません。
	常に点灯	緑色	各ポートに USB ドングルが接続されて います。
	常に点灯	橙色	各ポートと取り付けられた USB ドング ルへの接続がアクティブになります。



重要：
デバイス起動時の LED の動作は、ここで説明した状態と
は異なります。

機種ラベル

機種ラベルには、ハードウェアや証明書および製造番号などの重要な製品情報が記載されています。シリアル番号には製造日が、nnn YYYY MM nnnnn の形式で含まれます。

この情報は、保守の際などに役立ち、サポート要求や 'dongleserver Pro Serviceplus パッケージ' ⇨ 3 の登録の為に 必要となります。

安全規定

UTN サーバはオフィス環境向けのネットワークデバイスです。dongleserver Pro は USB ドングルを TCP/IP ネットワークに統合するように設計されています。



重要：

設置作業と初期セットアップを開始する前や、UTN サーバの動作中は、次の安全規定に留意してください。この安全規定は、人的な傷害や機器の損傷を防ぐことを目的としています。

- マニュアル類を読み、使用するシステムが要件を満たしていることを確認してください。
- 湿気や液体を避けてください。
- 本デバイスに少しでも不具合がある場合は、接続や操作をしないでください。
- ケーブルを踏んだり、ケーブルにつまづいたりしないようにしてください。
- 付属の電源コードが、ご使用になる国の仕様に合わない場合は、国の基準に適合した電源コードを別途ご準備ください。詳細は、販売店にご相談ください。
- 電話線を RJ-45 コネクタに接続しないでください。RJ-45 コネクタは、SELV 電圧のみに接続できます。RJ-45 コネクタの接続には、STP ケーブル配線 (カテゴリ 5 以上) のみを使用できます。シールドは、コネクタにぴったりとはめ込んでください。
- 本体は開けないでください。本製品の未承認の変更は保証および認定に影響し、禁止されています。
- また、ハウジングの上に物を置かないでください。
- 本デバイスには、付属の電源アダプタと電源コード以外を使用しないでください。
- 接続には、www.usb.org の一覧表にある認定済み USB ケーブル (最大 3 メートル) のみを使用してください。
- 静電気放電は本製品の動作に影響することがあります。
- 電源供給が不安定になった際、本製品の性能に影響を与えたり、誤作動を引き起こす可能性があります。
- 最大 2 台の USB デバイスを、接続ケーブルを使用してデバイスの USB ポートに接続してください。他のすべての USB デバイスは、直接 USB ポートに接続してはなりません。

ハードウェア設定

最大 8 台の USB ドングルを直接 dongleserver Pro に接続できます。



1. USB ドングルを、UTN サーバの USB ポートに接続します



重要：

必要に応じて、最大 2 台の USB ドングルをケーブルで UTN サーバに接続できます。
ただし、3m 以内の短い USB ケーブルを使用してください。
他のすべての USB ドングルは、直接 USB ポートに接続しなくてはなりません。

2. 複数の USB デバイスを接続する場合は、ステップ 1 の手順を繰り返します。
 3. ネットワークケーブル (RJ-45) を UTN サーバに接続します。
 4. 電源コードを UTN サーバに接続します。
- ↳ UTN サーバが起動して使用できるようになります。

SEH Product Manager

「SEH Product Manager」は、ネットワーク上の SEH Computertechnik GmbH デバイスの管理と保守のために SEH Computertechnik GmbH が開発したソフトウェアツールです。

このソフトウェアは、SEH Computertechnik GmbH デバイスをネットワーク上で管理・保守する必要があるすべてのクライアントにインストールします。

最初に、SEH Product Manager のインストールファイルを SEH Computertechnik GmbH のウェブサイトからダウンロードしてください。

<https://www.seh-technology.com/jp/services/downloads/download-deviceserver/utnserver-pro.html>



システム要件：

- － Windows 10、Windows Server 2012 以降
macOS 10.12.x 以降
 - － インストールには管理者権限が必要です。
1. SEH Product Manager のインストーラを起動します。
 2. インストール手順に従います。
↳ SEH Product Manager がクライアントにインストールされます。

SEH Product Manager は、アイコン  で確認できます。プログラムは、使用するオペレーティングシステムの通常方法で起動します。

プログラムの起動後、ネットワーク上の SEH Computertechnik GmbH デバイスが自動的に検索されます。詳細は、⇒  「SEH Product Manager オンラインヘルプ」を参照してください。

SEH UTN Manager

「SEH UTN Manager」は、SEH Computertechnik GmbH が開発したソフトウェアツールです。SEH UTN Manager は、UTN サーバに接続された USB デバイスへの接続を確立し管理するために使用されます。

SEH UTN Manager には 2 つのバージョンがあります。

- フルバージョン：

グラフィカルユーザインターフェイスが装備され、拡張機能を提供します。

- ミニマルバージョン

コマンドラインインターフェイスのみです。

詳細は USB デバイスサーバ ユーザーマニュアルを参照してください。

SEH UTN Manager は、ネットワークを介して USB ドングルにアクセスするすべてのクライアントにインストールする必要があります。オペレーティングシステムごとに、個別のインストールファイルが使用できます。

最初に、SEH UTN Manager のインストールファイルを SEH Computertechnik GmbH のホームページからダウンロードしてください。

<https://www.seh-technology.com/jp/services/downloads/download-deviceserver/utnserver-pro.html>



システム要件：

- Windows 10、Windows Server 2012 以降
- OS X/macOS 10.9 以降
- インストールには管理者権限が必要です。



重要：

SEH UTN Manager は、選択した Linux システムでも利用できます。

SEH UTN Manager を Linux 環境にインストールして使用するために必要なすべての情報は、USB デバイスサーバ ユーザーマニュアル Linux 版に記載されています。マニュアルは上記のリンクから入手できます。

1. インストールファイルを起動します。
 2. SEH UTN Manager の (グラフィカルユーザインターフェイスを含む) フルバージョンをインストールします。インストール手順に従ってください。
- SEH UTN Manager がクライアントにインストールされます。

📄 起動：SEH UTN Manager

SEH UTN Manager を起動すると、ネットワークをスキャンして、接続された UTN サーバを検出します。スキャンするネットワーク範囲は任意に設定できます。検索はマルチキャストや設定可能な IP 範囲から実行できます。初期値は、ローカルネットワークセグメント内でのマルチキャスト検索に設定されています。

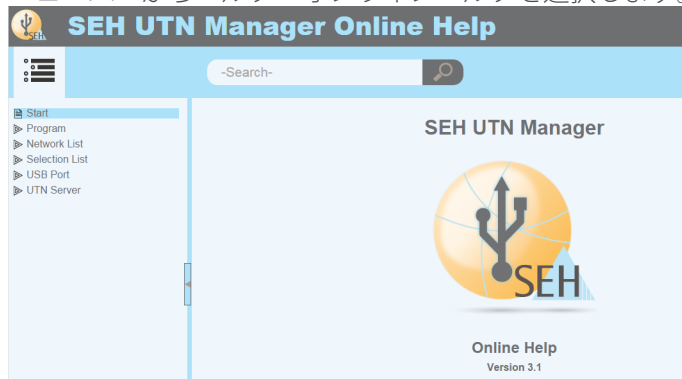
検出されたすべての UTN サーバとそのサーバに接続された USB ドングルが「ネットワークリスト」に表示されます。UTN サーバに接続されたデバイスを使用するには、UTN サーバを「選択リスト」に追加します。選択リストに表示されたデバイスを管理して、接続された USB ドングルを使用することができます。

この章では、こうした手順の実行方法について説明します。

- ・‘SEH UTN Manager を起動する’ ⇨ 12
- ・‘UTN サーバを検出して IP アドレスを割り当てる’ ⇨ 13
- ・‘UTN サーバを選択リストに追加する’ ⇨ 14
- ・‘USB ドングルをクライアントに接続する’ ⇨ 15



SEH UTN Manager の使用方法の詳細は、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプを起動するには、メニューバーからヘルプ - オンラインヘルプを選択します。



重要：

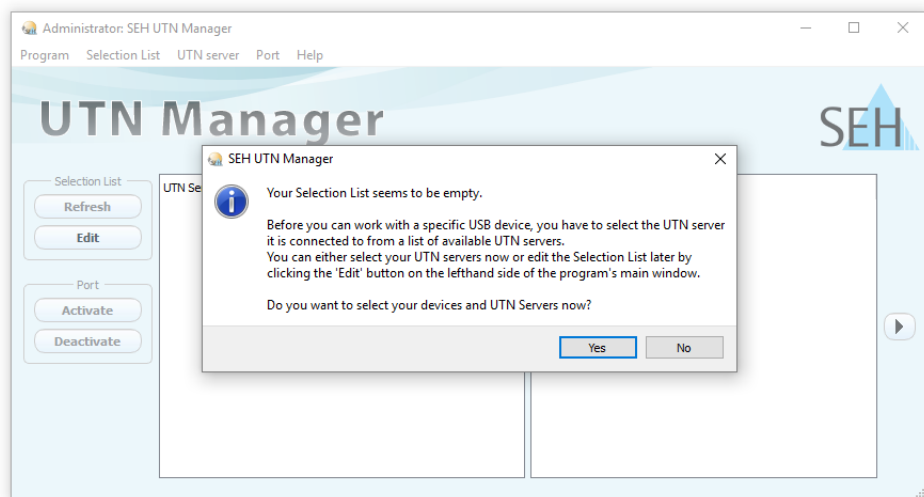
クライアントと UTN サーバは、UTN ポート 9200 を介して通信します。このポートは、セキュリティソフトウェア（ファイアウォール）でブロックしないようにしてください。必要に応じて、ポート番号の変更やセキュア UTN SSL ポートの使用が可能です。詳細は dongleserver ユーザーマニュアルを参照してください。マニュアルは 9 ページのリンクから入手できます。

SEH UTN Manager を起動する

SEH UTN Manager のアイコンを確認します：



プログラムは、使用するオペレーティングシステムの通常方法で起動します。



重要：

初期設定で、クライアントとUTNサーバを同一のローカルネットワークセグメントに割り当てる必要があります。

UTN サーバを検出して IP アドレスを割り当てる

UTN サーバは、ネットワークに接続すると、ブートプロトコル DHCP により動的に IPv4 設定 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS) を取得するかどうかチェックします。取得できない場合、UTN サーバは Zeroconf により、Zeroconf に予約されたアドレス範囲 (169.254.0.0/16) から自らの IP アドレスを割り当てます。

プログラムにより検出された UTN サーバは、「ネットワークリスト」に表示されます。UTN サーバの TCP/IP パラメータは、必要に応じて変更できます。

1. **選択リストに何も入力されていません。** ダイアログに対して、**はい**で確認します。

このダイアログが表示されず、メインのダイアログ画面が表示される場合は、メニューバーで**選択リスト - 編集**を選択します。

選択リストの編集ダイアログが表示されます。

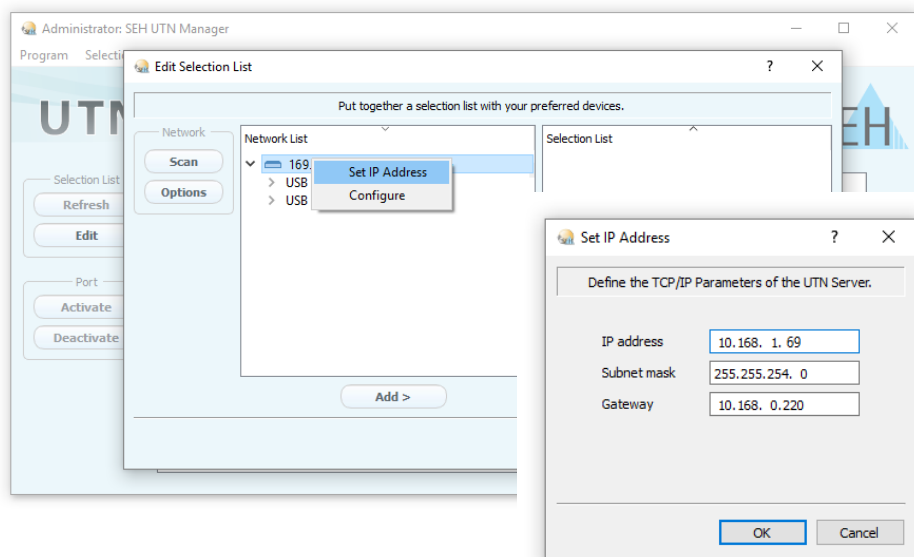
2. ネットワークリストから UTN サーバを選択します。
3. ショートカットメニューで、**IP アドレスの設定**を選択します。

IP アドレスの設定ダイアログが表示されます。

4. 関連する TCP/IP パラメータを入力します。

5. **OK** をクリックします。

↳ 設定が保存されます。

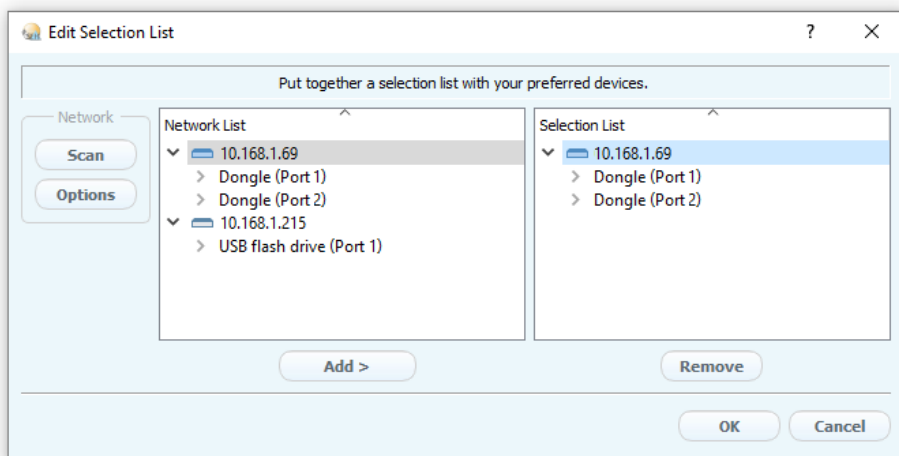


UTN サーバを選択リストに追加する

選択リストは、UTN サーバとサーバの USB ポートに接続された USB デバイス、または USB ドングルを表示します。

使用するデバイスを設定します。設定するには、ネットワークリストに表示された UTN サーバを、接続された USB デバイスまたは USB ドングルを含め選択リストに追加する必要があります。

1. メニューバーから、**選択リスト - 編集**を選択します。
選択リストの編集ダイアログが表示されます。
 2. ネットワークリストから UTN サーバを選択します。
 3. **追加**をクリックします。
 4. 必要に応じて、ステップ 2 と 3 を繰り返し実行します。
 5. **OK** をクリックします。
- ↳ UTN サーバと、接続された USB デバイスまたは USB ドングルが選択リストに表示されます。



UTN サーバの検索を任意のネットワーク範囲に拡大できます。範囲を拡大するには、ネットワークの検索パラメータを変更します。

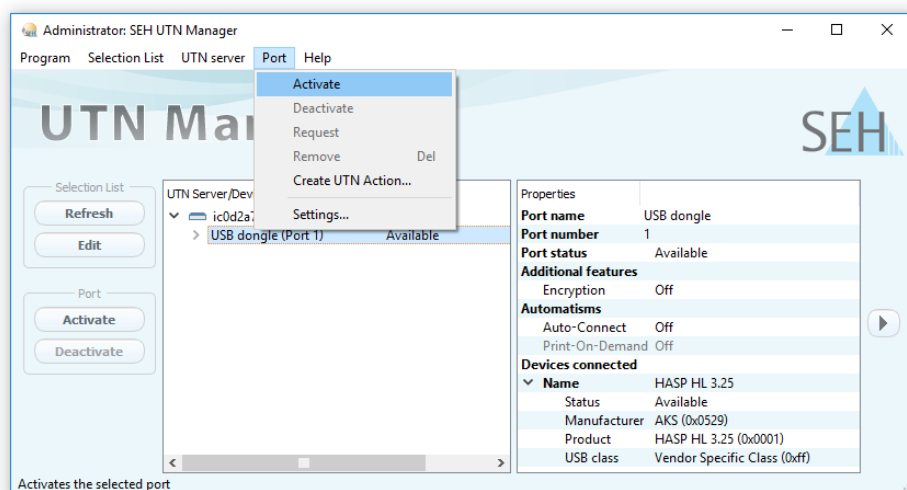
Windows：プログラム - オプション

Mac：SEH UTN Manager - プリファレンス

USB ドングルをクライアントに接続する

USB ドングルを使用する場合は、クライアントと USB ドングルが接続された UTN サーバの USB ポート間のポイントツーポイント接続を確立します。接続された USB ドングルは、直接クライアントに接続された USB ドングルと同じ状態で使用できます。

- ✓ USB ポートが選択リスト上に表示されていること。⇒ 図 14
 - ✓ クライアント側は、USB ドングルをローカルで操作する（直接クライアントに接続する）ために必要な条件（ドライバのインストールなど）を、すべて満たしていること。対象の USB ドングルをメーカーの説明書に従って実際にローカルでクライアントに接続し、動作を確認することをお奨めします。
 - ✓ USB ポートが、別のクライアントに接続されていないこと。
1. 選択リストからポートを選択します。
 2. メニューバーから、**ポート - 有効化**を選択します。
↳ USB ドングルとクライアント間の接続が確立されます。



重要：

USB ドングルがクライアントに接続されている場合、その接続タイプはポイントツーポイントです。接続が確立されている間、その USB ドングルは他のクライアントに接続することができないため、他のユーザは使用できません。そのため、USB デバイスへの接続はデバイスを使用しなくなった時点で即座に解除する必要があります。メニューバーから、**ポート - 無効化**を選択します。

UTN サーバの設定

UTN サーバには、ユーザインターフェイスである dongleserver Control Center が装備され、インターネットブラウザ (Internet Explorer または Safari) で起動できます。

UTN サーバは、dongleserver Control Center から設定や監視および保守することができます。

1. ブラウザを開きます。
2. UTN サーバの IP アドレスを URL で入力します。
↳ dongleserver Control Center がブラウザに表示されます。



重要：

dongleserver Control Center が表示されない場合は、ゲートウェイが設定されていることを確認し (⇒ 13)、ブラウザのプロキシ設定も確認してください。

UTN server	
Default name	IC0feeee
Serial number	29500000000000
MAC address	00:c0:eb:0f:ee:ee
Host name	
Software	20.1
Hardware	1.0
Description	
Contact person	
Date/time	2019-07-09 08:29:27

Network	
IP address	192.168.4.249
Subnet mask	255.255.255.0
Gateway	192.168.4.4
UTN port	9200
UTN SSL port	9443

Attached devices (0/16)			
Port	Name	Status	VLAN
1		*	*
2		*	*
3		*	*
4		*	*
5		*	*
6		*	*
7		*	*
8		*	*



UTN サーバの設定に関する詳細は、dongleserver Control Center のオンラインヘルプを参照してください。

オンラインヘルプを起動するには、「?」アイコンをクリックします。

📄 UTM サーバを施錠する

dongleserver Pro のカバーは施錠できます。これにより、USB ドングルを保護できます。カバーを施錠するには、本体のハウジングの切り込みに挿入します。施錠用のキーは dongleserver Pro に付属しています。⇒🔑2



VCCI クラス B

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B



Open Source Software License Disclaimer and License Texts

This product was developed by SEH Computertechnik GmbH and contains and uses software which is licensed under the terms of various Open Source software licenses. All information including disclaimer and licenses can be found in the device's web-based user interface, the Fiskal-Server Control Center, on the page 'Open Source Software' (https://<IP address> /opensrc_en.html).

メーカー：

SEH Computertechnik GmbH

Suedring 11

33647 Bielefeld, Germany

電話：+49 (0)521 94226-29

FAX：+49 (0)521 94226-99

サポート：+49 (0)521 94226-44

Email：info@seh.de

Web：https://www.seh.de



重要なインターネットリソース：

技術サポート連絡先：

<https://www.seh-technology.com/jp/services/support.html>

販売店情報：

<https://www.seh-technology.com/company/management-and-staff/seh-sales-team.html>

ダウンロード：

<https://www.seh-technology.com/jp/services/downloads.html>

© 2021 SEH Computertechnik GmbH

この文書に記載されている商標、登録商標および製品名は、それぞれの会社（所有者）に帰属します。

本文書の記載事項は予告なく変更されることがあります。

<https://www.seh-technology.com/jp/services/licenses.html> 本資料には重要な商品情報が記載されています。製品の使用中は、常に参照できるように保管しておいてください。